



岡山県マスコット「ももち」

令和7年度勤務実態調査から

働き方改革に関する意識と時間外在校等時間

令和7年6月に教職員の勤務実態調査を実施しました。調査では、働き方改革に関する意識調査も行っています。今回は、意識調査の項目に対する回答と時間外在校等時間の関係について紹介します。

①時間を意識した働き方

どの校種でも、肯定的な回答をした人は否定的な回答をした人に比べて、時間外在校等時間が短く、特に小学校では20時間以上の差がありました。

「〇時まで帰ろう。」「この業務は△分で終わらせよう。」など時間を意識することが業務を効率的に行うことにつながっていると考えられます。

①時間を意識した働き方を心掛けていますか。

	(肯定的回答)	(否定的回答)
小学校	約38時間	約59時間
中学校	約44時間	約56時間
高等学校	約45時間	約54時間
特別支援学校	約23時間	約33時間

②業務の見直しを意識した働き方

どの校種でも、肯定的な回答をした人は否定的な回答をした人に比べて、時間外在校等時間が短くなっています。

目指す子どもの姿を踏まえ、業務の廃止・簡略化・焦点化を意識することが業務量の削減につながっていると考えられます。

②業務の見直しを意識した働き方を心掛けていますか。

	(肯定的回答)	(否定的回答)
小学校	約37時間	約51時間
中学校	約44時間	約52時間
高等学校	約45時間	約52時間
特別支援学校	約23時間	約27時間

Pick Up!

学校の実態に応じた取組の推進

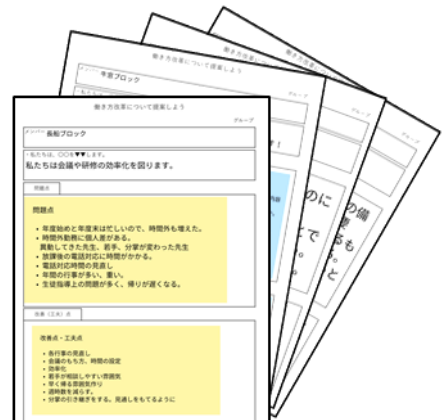
瀬戸内市の小・中学校では、働き方改革を自分たちで実現するという意識を醸成し、各校の実態に応じた効果的な取組を進めるため、令和7年度から校務分掌として働き方改革担当者を置いています。

瀬戸内市教育委員会は、担当者を対象にした研修会を開催し、所属校の課題を踏まえた業務改善の提案書を作成するワークショップを実施するなど、学校の主体的・組織的な取組が実現するよう支援しています。



参加者の声

- 一人ひとりの意識を変えるためにも、早く帰るメリットを伝えたり、早く帰る雰囲気を作ったりしたい。
- 先生方の意識改革の視点で、具体的な対策を考えることができた。会議や研修の効率化について、読んで分かるものは説明を省略したり、協議内容を焦点化したりする提案をしたい。
- 同じブロックの学校と取組や課題を共有し、自校でも活用できる方策を学ぶことができた。職場内の一人ひとりが自分のよりよい働き方について考え、自分の課題を見つめ、めあてをもって取組を進める意識を広めていきたい。





岡山県マスコット「ももち」

地域と連携した働き方改革の推進

学校における働き方改革をより一層推進していくためには、保護者・地域関係者の協力を得ながら業務の適性化を進めることが重要です。今回は、**地域総がかり**で子どもたちを育てるため、地域との連携を進めた結果、教職員の働き方改革も進んだ学校を紹介します。

Pick Up!

赤磐市立山陽北小学校の実践

山陽北小学校では、目指す児童像の実現に向けて、地域ボランティア「かがやきクラブ」と連携しながら**教育の質の向上**に取り組んでいます。

学校の現状の共有

毎月、ボランティアコーディネーターと情報交換会を開催し、学校評価アンケートの結果や教職員の時間外在校等時間の状況など、客観的なデータを示しながら学校の現状を共有し、効果的な連携の在り方等について熟議を行っています。



会の運営をコーディネーターが担っており、地域と学校がしっかりと話し合う機会をもつことで、**地域の方が教育課題を地域の課題と捉え**、学校の教育活動に**当事者意識**をもって関わることに繋がっています。

「かがやきクラブ」の心得改定

ボランティアコーディネーターと一緒に方針を再確認し「『かがやきクラブ』の心得」を改定しました。

地域と学校が**目標を共有**し、地域の方の学校教育目標についての理解が深まることで、教育活動への後押しにつながり、教育の質が向上しています。

～追加された内容抜粋～

- ・教育目標、指導方針等を理解し、取組がより推進されるよう後押ししましょう。
- ・主体的に取り組む姿勢を見守り、必要に応じて支援をしましょう。
- ・保護者の方同士のつながりや地域の方とのつながりをどんどん広げ、深めていきましょう。

「かがやきクラブ」の心得

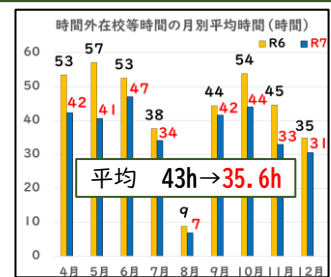
かがやきクラブの活動へご理解・ご協力、誠にありがとうございます。地域総がかりで子どもたちを育てる取組をより一層推進するために、かがやきクラブの心得を改訂しました。次の内容を、必ずご一読いただき、ボランティアに参加する際に、心に留めていただけたらと思います。ボランティアは未来への投資です。子どもたちのために、みんなの力を合わせてがんばりましょう。

1. 学校教育目標や指導方針等を理解し、学校の取組を後押ししましょう
学校は、国・県等の方針や施策等を踏まえた上で、教育目標や指導方針等を定めています。教育目標、指導方針等を理解し、取組がより推進されるよう、後押ししましょう。
2. 働きすぎに注意して、子どもたち自身でできるよう見守りましょう
子どもたち自身でできることを見守りましょう。

教職員の負担軽減

授業中の学習支援、登下校の見守り、校内の環境整備など、さまざまな場面で**地域の協力**や**役割分担**が進むことで、教職員が子どもと向き合う時間の確保や業務負担の軽減につながっています。

令和7年度における4月～12月の時間外在校等時間の平均は令和6年度と比較して**約17%減少**しています。



持続可能な体制づくり

かがやきクラブの活動に参加された方からは、

- ・子どもたちと関わることで、**自分たちも元気ももらっています。**
- ・子どもを中心に、**地域の中で新しいつながりが生まれています。**

といった声があがるなど、学校だけでなく、地域にとってもメリットのある活動になっています。

山陽北小学校では、学校運営協議会の設置を進め、持続可能な体制づくりを目指しています。

